

南あわじ市 平成 21 年度 事務事業評価シート 新規 継続
(運営用)

I 基本事項

		整理番号	432
事業名	児童館管理運営費	予算科目	会計 一般会計・1 款 民生費・3款 項 児童福祉費・2項 目 児童館費・5目
担当部課名	健康福祉部 少子対策課		
担当者	0799 - 52 - 3999		
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	安らぎづくり 元気あふれ 住んで快適なまちづくり	
	まちづくりの目標	子どもを産みたい 育てたいまち〔子育て〕	
	施策目標	子どもや要介護者をもつ共働き夫婦などが、安心して生活できるよう、地域全体で支える	

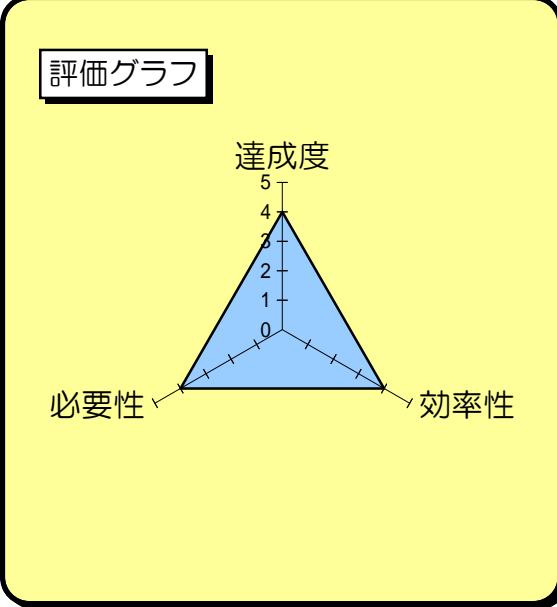
II Plan (計画、事業内容、事業背景)

施設 の 概 要	設置目的	対象(誰を・どのような状況の人を) 市内全域の児童及び未就学園児		
		意図(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入) 児童に健全な遊びの場を与え、遊びをとおして児童の健康を増進し、情操を豊かにすることで精神発達の充実に支援する。また、地域組織活動の育成助言を行う。		
	施設内容	(敷地面積、延床面積、構造、収容人数、駐車台数、付属施設など)		
		施設名称	南あわじ市児童館	
		所在地	南あわじ市福良乙999-1	
		設置年度	昭和 40 年度	
			(現建造物は平成7年に移転改築) 敷地面積 434.19㎡ 延床面積 237.56㎡ 構造 鉄骨二階建 外壁ALC版吹付けタイル 収容人数 50人	
	稼働状況	(施設の利用状況、稼働状況)		
		午前 未就学園児母子来館し遊ぶ 午後 小学生が下校時より来館、クラブ活動を通して利用 入部以外の児童にも遊び場を提供 1日平均利用者 30人 施設は近隣自治会(7地区)のコミュニティセンターとしても利用している。		
		施設設置根拠法令等	児童福祉法 第40条 児童厚生施設	
	開館時間	午前 8 時 30 分 ~ 午後 5 時 00 分		
	休館日	<input type="checkbox"/> 平日 <input type="checkbox"/> 曜日 <input checked="" type="checkbox"/> 土曜日 <input checked="" type="checkbox"/> 日曜日 <input checked="" type="checkbox"/> 祝祭日 (その他) 市長が特に必要があると認めるとき		
	運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託(施設設備保守管理等は下の管理方法に記入)		
		委託団体	(1) (2)	
		委託内容	(1) (2)	

Ⅲ Do (管理状況、使用料、投入資源等)

管理方法		(委託業種、作業内容、設備・備品内容、修繕内容など)									
		委託業種...館内清掃(南あわじ市シルバー人材センター) 遊具安全点検 作業内容...児童館クラブの運営(クラブ講師) 施設修繕...遊具修理等									
		施設管理従事職員	市職員	2	人	臨時・委託職員	1	人	合計	3	人
使用料等		受益者負担について(料金体系、根拠法令など)									
		なし									
資源配分(インプット)		減免措置(減免内容、根拠法令など)									
		なし									
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度					
直接事業費(千円)		3,856	3,500	2,833	3,813	2,173					
賃金及び報償費		1,906	1,550	1,526	1,650	504					
需用費		785	711	402	626	593					
役務費		99	87	90	114	102					
委託料		980	938	705	1,293	776					
使用料及び賃借料ほか		56	184	80	100	168					
負担金		30	30	30	30	30					
財源(千円)											
国											
県											
起債											
その他			6	5							
一般財源[A]		3,856	3,494	2,828	3,813	2,173					
人件費(正規職員)[B](千円)		7,176	7,224	6,696	13,536	13,536					
平均人件費(1日当り)		29.9	30.1	27.9	28.2	28.2					
事業量1(事業に要した日数)		240	240	240	240	240					
事業量2(事業に要した人数)		1	1	1	2	2					
年間経費([A]+[B])		11,032	10,718	9,524	17,349	15,709					
経費に関する補足説明											

IV Check (事業の自己評価・一次評価)

設置目的達成度	(達成度の分析、問題点・課題などを記入。) 児童に健全で楽しい遊び場を与え心身の発達向上を図れた。 また、様々な児童館クラブの実施で情操豊かな知的で社会的な適応能力を高めることができた。	自己評価 (5点評価)
	4	
効率性	(施設の効率性・コストの分析、問題点・課題などを記入。) 校区外の児童も利用しているが場所的な問題もあり福良地区だけの施設としての認識がある。 未就学園児に対しては南淡公民館に「子育て学習センター」もあるため、利用が半減される。	自己評価 (5点評価)
	4	
必要性	行政関与の妥当性 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 (公共が設置すべきか、市民ニーズはあるかなどを分析、問題点・課題などを記入。) 核家族・両親就労形態による放課後児童の生活・遊び場の確保。 未就学園児の遊び場及び子育て情報提供。 母親クラブ、子育てファミリーサポートくらぶとの連携。 子育て支援、児童の健全育成のため。	自己評価 (5点評価)
	4	
総合評価	自己評価をふまえた現状分析 未就学園児や、放課後児童への生活の場の提供(クラブ活動を含む)により、保護者への支援・育児不安解消・地域住民へ安心感を与えることができ、児童には健全な遊びを与えて、健康を増進し、情操を豊かにすることが出来ている。 昨年まで県の事業であった子育てファミリーサポートくらぶが、今年から市の事業となり児童館で事務処理することになったので市職員2名(今までは市職員1名、午後から臨時職員1名)となった。 児童館は市内に1箇所の施設のため、中心的な働きが求められるが市の中心から離れた不利な場所であるため、それをカバー出来るよう取り組んでいく。	評価グラフ 

V Action&Plan (改善の内容及び次年度以降の計画)

	平成22年度にできる改善・改革	平成23年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
	<input type="checkbox"/> 見直し (下記の見直し内容にチェック)	<input type="checkbox"/> 見直し (下記の見直し内容にチェック)
	<input type="checkbox"/> 人員配置の見直し <input type="checkbox"/> イベント等の見直し	<input type="checkbox"/> 人員配置の見直し <input type="checkbox"/> イベント等の見直し
	<input type="checkbox"/> 開館時間、休日等の見直し <input type="checkbox"/> 使用料の見直し	<input type="checkbox"/> 開館時間、休日等の見直し <input type="checkbox"/> 使用料の見直し
	<input type="checkbox"/> 指定管理者委託 <input type="checkbox"/> 民間譲渡	<input type="checkbox"/> 指定管理者委託 <input type="checkbox"/> 民間譲渡
	<input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> その他
	正規職員を1名から2名に増員し、従来からの児童館クラブに加えて子育てファミリーサポートクラブなどに取り組んでおり、引き続き現状維持で取り組む。	同左。
(で 見 直 し の 場 合 記 入) 具 体 的 な 改 善 方 法		
(で 見 直 し の 場 合 記 入) 見 直 し に よ り 期 待 さ れ る 効 果		
(現状維持の場合も記入)	仮に 施設を廃止した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面)	
	放課後児童の安全な生活方法(鍵っ子など)に不安がでる。 育児・子育て支援の充実が図れない。 地域組織活動の育成助長を図る機関がなくなる。 コストダウン	
(現状維持の場合も記入)	仮に 外部委託した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面)	
	育児・子育て支援のキメ細かい対応が出来ない。 保護者が安心して仕事につけない。 幼児・児童に対する指導等の対応が希薄になる。	